

# 題材名

「新たな発見を、新たな価値につなげよう」（第2学年）



## 題材の概要

この題材では、高解像度の作品データを使い、作品を部分的に拡大し、鑑賞を行います。対象そのものやマチエールなど、生徒一人一人が気になった部分について、じっくりと鑑賞できます。新たな気づきが、作者の思いや作品に対する新たな解釈につながります。



## ツール・機能、分類

ツール・機能・・・ 端末の提示機能

分類…………… 思考活動、協働活動



## 題材の目標

### 知識・技能

○形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、構成の美しさや表現された思いを全体のイメージで捉えることを理解する。〔共通事項〕

### 思考・判断・表現

○作品から造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。〔「B鑑賞」(1)〕

### 主体的に学習に取り組む態度

○美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品の鑑賞に取り組もうとする。〔「B鑑賞」(1)〕



## 提示する作品

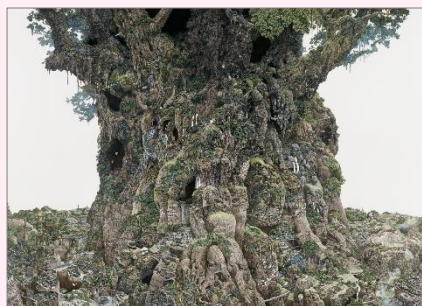
今回は、これらの作品を紹介しています。生徒の実態、授業のねらいに応じて、提示する作品を選びましょう。



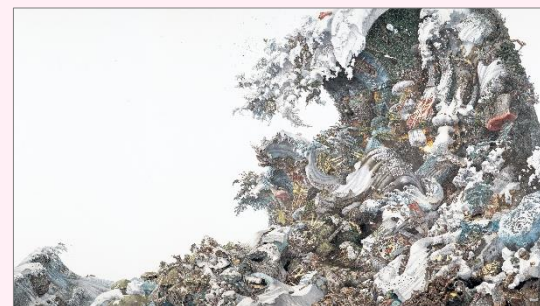
モナ・リザ  
1503-1519頃  
板に油彩  
77×53cm  
ルーヴル美術館蔵  
Leonardo da Vinci



再生  
2001  
紙にペン、インク  
162×162cm  
浜松市美術館所蔵  
©IKEDA Manabu  
Courtesy of Mizuma Art Gallery



存在  
2004  
紙にペン、インク  
145×205cm  
Collection of Joan and Michael Salke  
©IKEDA Manabu  
Courtesy of Mizuma Art Gallery

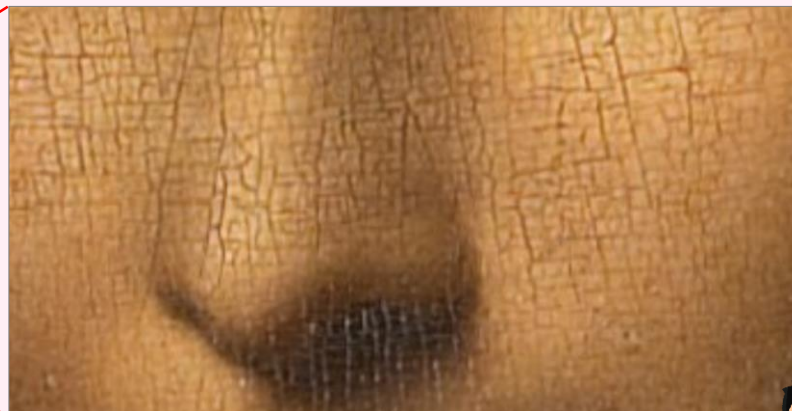
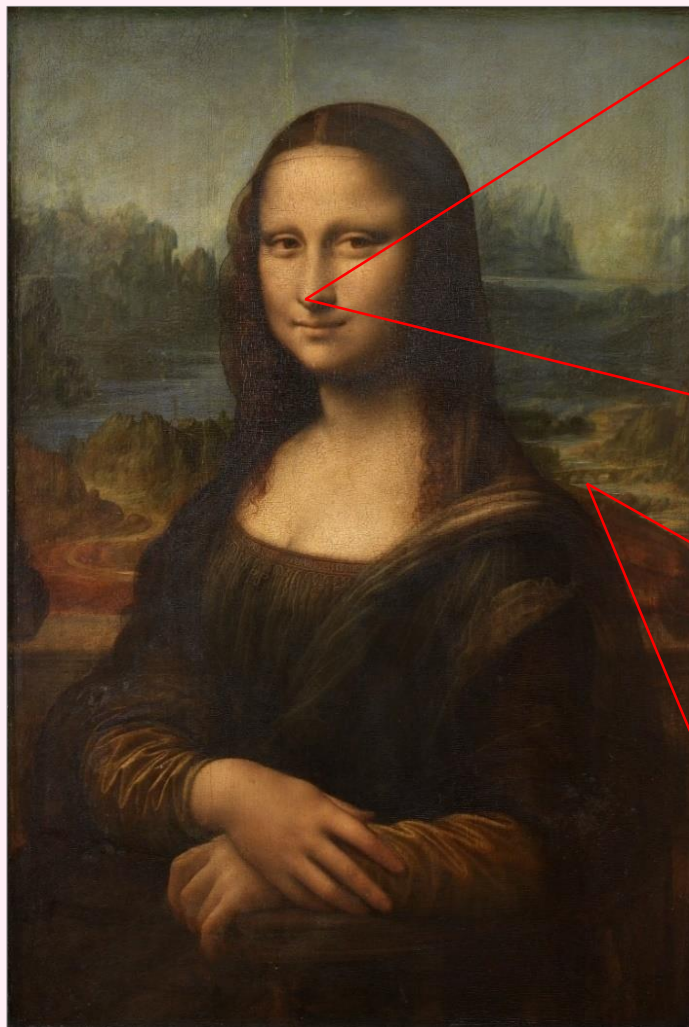


予兆  
2008  
紙にペン、インク  
190×340cm  
撮影：久家靖秀  
神楽サロン蔵  
©IKEDA Manabu  
Courtesy of Mizuma Art Gallery



## 端末の活用場面①-1

端末の拡大機能を使って作品（データ）の一部を拡大し、鑑賞する場面



モナ・リザの顔にはヒビがあったんだね。知らなかった。なんでヒビが入ったんだろう。



背景にはアーチ型の橋がかかっているみたい。背景にも何か意味があるんじゃないかな。



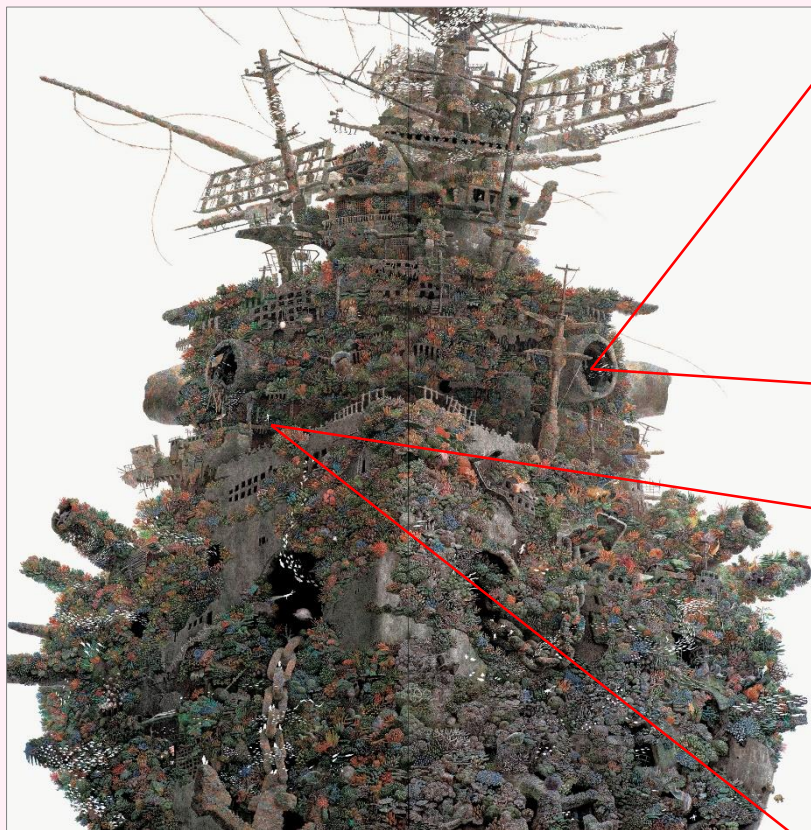
新たな発見が新たな疑問や解釈につながり、鑑賞での学びが深まっていきます。





## 端末の活用場面①-2

端末の拡大機能を使って作品（データ）の一部を拡大し、鑑賞する場面



スキューバダイビングしている人や魚の群れが見えるから、水中ってことかな？



ペンで細かく描いてあるみたいだね。  
どんなペンを使っているんだろう。



新たな発見が新たな疑問や解釈につながり、鑑賞での学びが深まっていきます。



## 端末の活用場面②

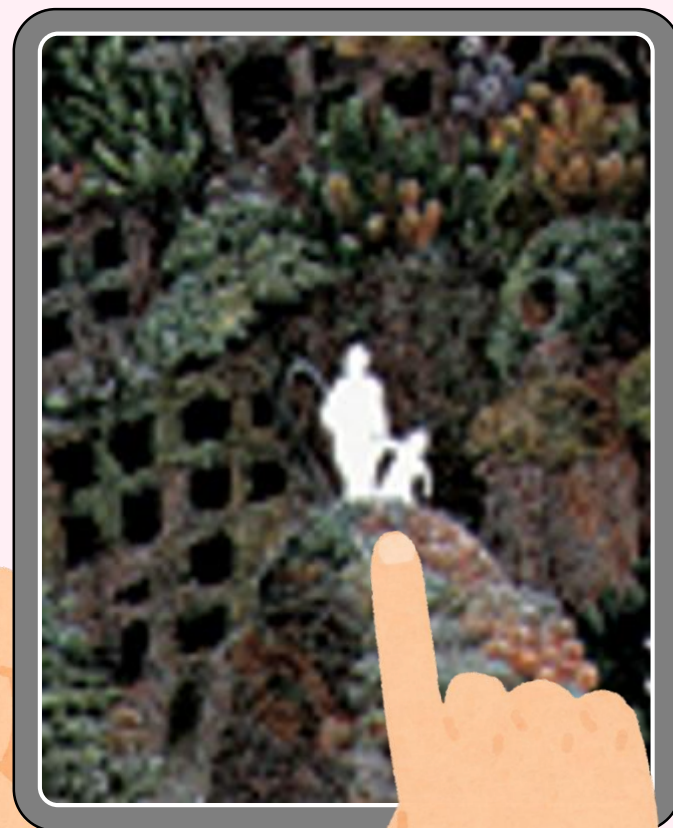
### 電子黒板と端末を使って、気づきを共有する場面



発表者が電子黒板でデータを拡大し説明している場面

発表者が電子黒板でデータを拡大して説明し、発表者以外の生徒が、同時に端末でデータを拡大しながら鑑賞を行うことで、気づきを共有しながら、新たな疑問や解釈へつなげていきます。

本当だ！  
錨の上に人間が二人いて、釣りをしているね！  
大人と子どもみたいに見えるな…。  
池田さんは釣りが好きで、自分が釣りをしている姿を作品の中に描いたんじゃないかな？







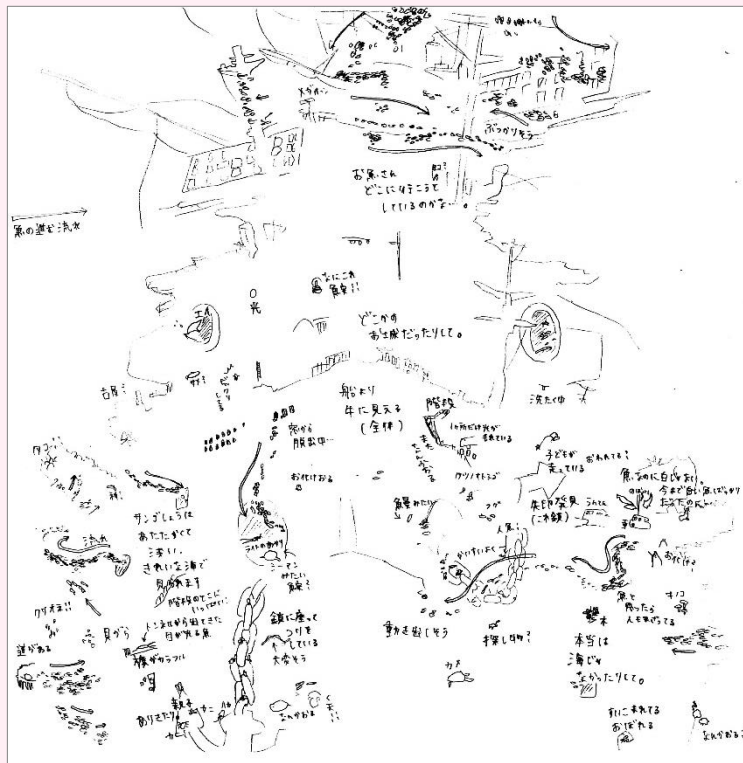
## 端末の活用と併せて

端末での気づきを、紙面上で記録し共有する場面



ワークシート（トレーシングペーパー）を  
使ってのグループでの協議の場面

鑑賞を深めるには、端末の活用だけでなく、紙面上でも共有化を図ると、より効果的です。  
グループや学級で共有したことをまとめたワークシートなどを美術室に掲示すれば、他の学級や他の学年の生徒にも学びが広がっていきます。



個人のワークシート（トレーシングペーパー）



## さいごに

○作品データの解像度が高いほど、新たな発見による鑑賞の深まりがより期待できます。授業に限れば、活用できる画像は多いと思われますが、著作権に十分留意しましょう。